

意見聴取の結果について

1. 令和3年6月実施の各種団体及び市民等からの意見聴取

(1) 意見募集の期間

令和3年6月4日（金）～18日（金）

(2) 募集方法

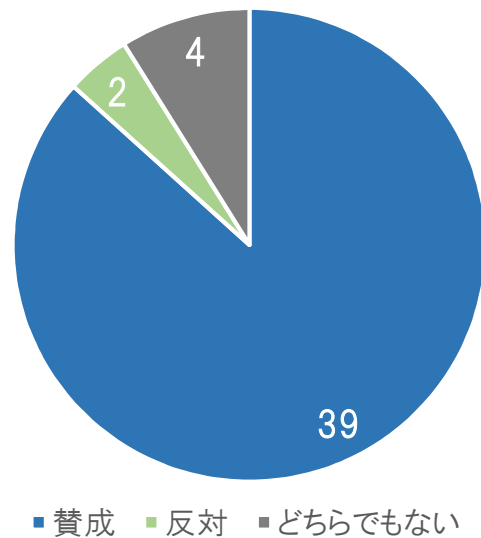
広報しょうばら6月号、市ホームページ及び告知放送等で募集方法を周知した。

(3) 各種団体から寄せられた意見の集約状況

① 意見をお寄せいただいた団体数 45 団体

区分	団体数
市の取得方針に対し賛成とした意見	39
市の取得方針に対し反対とした意見	2
どちらでもない	4

団体意見集約状況



② 主な意見の要約

【賛成意見】

- 庄原市の中で、今後も市内事業者が経済活動を維持、発展させるためには、この施設が持つ市としてのインフラ機能が絶対に必要であり、加えて市内雇用の確保と拡大、市内事業者との契約など、経済面からも必要不可欠な施設であると考えます。
- 高齢者にとっては、本施設の利用度は高く、癒し、交流、介護予防など元気を生み出す高齢者のかけがえのない施設として、利用活用をしている最たる施設である。
- 「かんぼの郷庄原」は庄原市民にとって観光振興はもちろんのこと、家族親族の葬祭等行事、各種法人団体の役員会・総会・会議、各種研修会、シンポジウム、同窓会など、幅広い行事ができる唯一の施設であり、市民生活に欠かせない必要不可欠な社会資源と考える。
- 人口が減少する中、観光交流施設として、観光の面から人口増大の経済効果を既に担っている施設であり、今後も人口減少が予測される庄原市にとっては、大きく寄与していく施設である。
- 「かんぼの郷庄原」は市民の集う施設、また、良質な温泉も有ることから、健康増進にもなるので取得に賛成する。
- 「かんぼの郷庄原」は本市の観光振興に必要不可欠な施設であり、市において取得していただきたい。ただし、市が取得した後、既存の観光交流施設の指定管理者制度でなく、民間ノウハウや活力を十分に生かすとともに、リスク分散を図るため、所有と運営の分離による「管理運営受託方式」などを検討していただきたい。

- 民間の宿泊施設等の取得は、本来なら行政の仕事ではないように思うが、地域性から民間業者が取得することは望めない状況である。行政の取得については多くの市民からの要望があり、経営状況等の分析調査報告書でも取得すべきであるとの報告があり取得方針には同意する。
- 市の取得については基本的には賛成である。ただし、現指定管理者ありきではなく、幅広く事業者を募集すべき。その選定基準も今後10年を考え、地域住民の雇用と地元への利益還元は基本であるが、戦略的なマーケティングが実施でき、いかに優れた経営戦略を実行できるかを基準とすべき。
- 「かんぼの郷庄原」が生産性のない事業所や海外支店の倉庫となった場合、庄原市における観光振興による地域の活性化は今以上にダメージを受ける。よって取得については、市が取得しできないと考える。
また、有事の際の避難先としても必要であることから、庄原市の取得を希望する。
- 取得する方針への経緯は、意見聴取用資料と、広報しようばら6月号に述べられてはいる。しかし、他に参照する資料はない。様々な疑問が湧き、心細く、回答期限も迫る中であっては、まず、市の方針を信頼すること。それが最上の答えの一つと考える。

【反対意見】

- 「かんぼの郷庄原」は、本来民間活力により経営されるべきものであり、市が取得し、指定管理などで対応すべきものではない。また、市は公共施設等総合管理計画により、長期的な視点に立った財政見直しから一定の整理をするものとしているが、行政目的の曖昧な「かんぼの郷庄原」の取得により新たな負担を抱えることの合理的な理由は見当たらない。
- 民間でも経営が悪いのに、行政がかかわっての運営となると、更に厳しい運営になるような気がする。(民間がやって駄目なところに民間は入ってこない)

【どちらでもない】

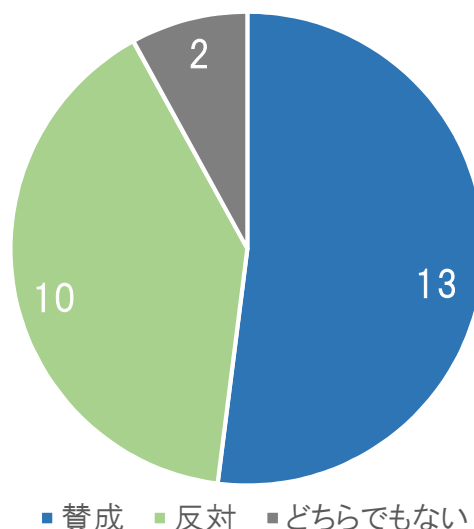
- 施設取得については、メリット・デメリットが混在し、意見を求められても判断が難しい。

(4) 市民から寄せられた意見の集約状況

① 意見をお寄せいただいた人数 25人

区分	人数
市の取得方針に対し賛成とした意見	13
市の取得方針に対し反対とした意見	10
どちらでもない	2

市民意見集約状況



② 主な意見の要約

【賛成意見】

- 今「かんぼの郷庄原」を失うことは、庄原市の観光事業の衰退や地域経済の疲弊、雇用、市民の活力などに多大な損失を被ることになる。将来に亘る庄原市の代表施設として取得すべきであるという意見には賛成であり、ぜひ取得すべきである。
- 「かんぼの郷庄原」は、市が取得する方針には賛成であり、最大限安価での取得を望む。
- 「かんぼの郷庄原」をなくさないためにも、市が取得することには賛成です。問題は取得後の運営が一番の課題と思われる。
- 庄原市の取得に賛成である。地元の人ならではの、価格帯の宿泊プラン、県外の方の利用が始まる夕方までの時間の有効利用出来るプランが有れば、フルに活用して欲しい。今後の自分達の暮らしを考えて利用出来るような施設であって欲しいと思う。
- 市において取得すべき。既存の宿泊施設としての機能の縮小（箱自体が大きすぎると思う）や、それ以外の活用も視野に入れ改修すべきと考える。

【反対意見】

- コンサルタントによる調査報告書の内容が浅い。1社の分析だけでは心配である。
- 取得に反対。海外資本であろうが民間が取得した方が良いと考える。
- 日本郵政から正式な価格の提示を受けていない中で取得方針を決めることはおかしいと考える。
- 市民が憩い・集う施設は、庄原市には十分にあるため取得については反対する。

【どちらでもない】

- 真に必要な施設ならば、専門家、経済界、各団体、市民代表などオール庄原の英知を結集してこの施設がどうすれば「健全経営」が出来るのかもっと深い検討が必要と思う。